

TOTO

パッキン(交換手順)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

工事店様へ

- 交換前に商品の品番を確認してください。
- 品番ごとに手順が記載されているものがありますので、各手順に従って施工してください。
- 品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

交換前作業

※交換前に下記 ①～③ の作業を実施してください。

① タンク内の水を流す

- ①ヒーター用プラグをコンセントから抜く。
(水抜き方式のみ)

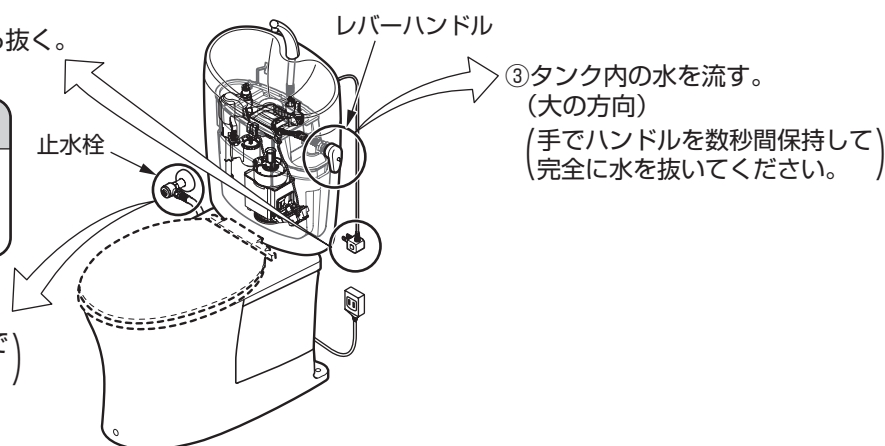
⚠ 注意



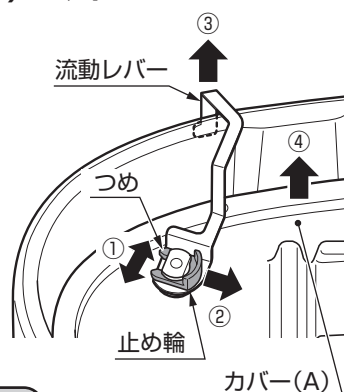
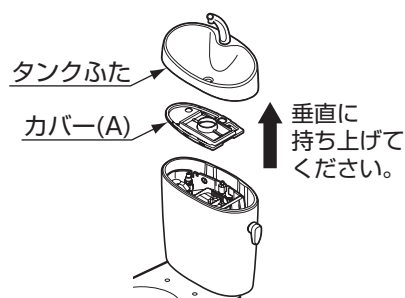
禁止

ぬれた手で、電源プラグ
を抜き差ししない
感電の原因になります。

- ②止水栓を閉める。
(マイナスドライバーで
右に回してください。)



② タンクふたとカバー(A)を外す



⚠ 注意

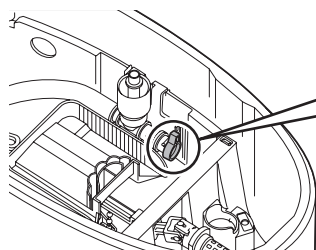


必ず実行

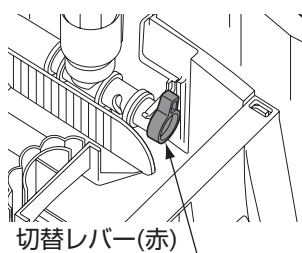
タンクふたは落とさないように
注意する
破損してけがをするおそれがあります。

一般地・ 水抜き方式	カバー(A)を持ち上げてその まま外します。
流動方式	※流動方式の場合は、流動レバー を外さないと、カバー(A)が外 せないようになっています。 流動レバーの取り外し方法は、 製品同梱の施工説明書をご確 認ください。 ①止め輪のつま部分を広げます。 ②止め輪をスライドさせ、外します。 ③流動レバーを外します。 ④カバー(A)を持ち上げて外します。

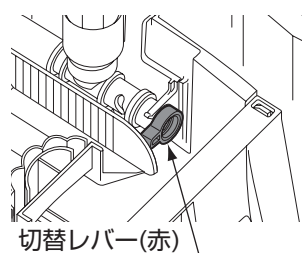
③ 切替レバーの向きを確認する



つまみが上向き（補給水なし）



つまみが前向き（補給水あり）

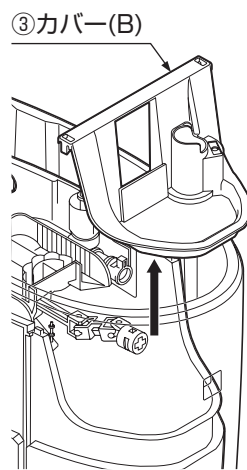
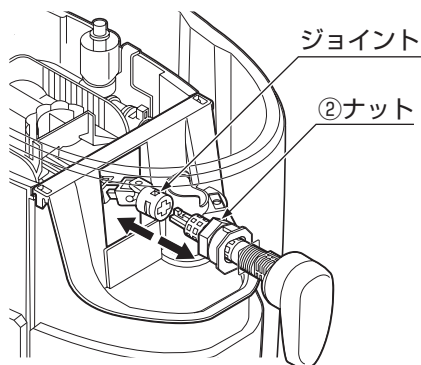
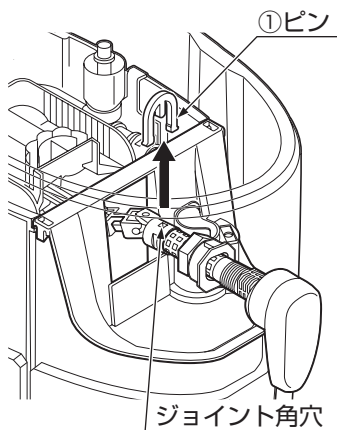


※部品の交換後に、切替レバーの向きを交換前の状態にあわせる必要があります。

交換手順

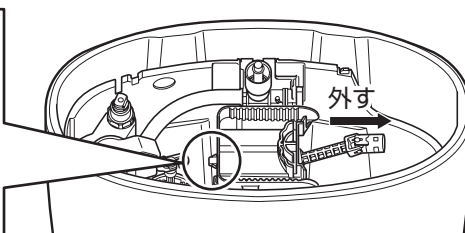
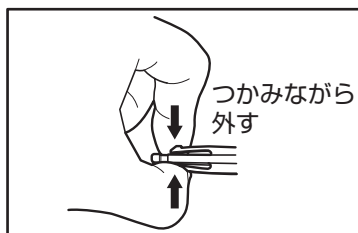
④ レバーハンドル部とカバー(B)を取り外す

- ①レバーのピンを取り外す。
※ピンを落とさないように注意してください。
- ②ナットをゆるめてレバーハンドル部を取り外す。
- ③カバー(B)を取り外す。



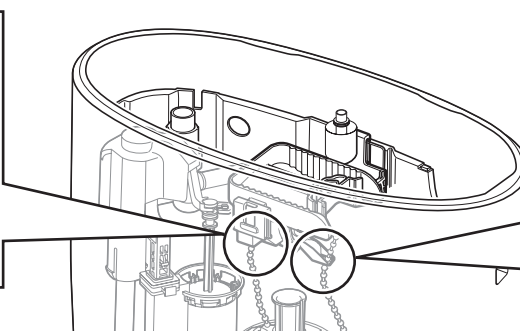
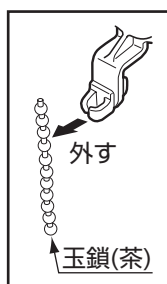
⑤ ジョイントユニットを外す

- ・排水レバーユニットから
ジョイントユニットを外す。



⑥ 玉鎖（大・小）を外す

- ・排水レバーユニットから
玉鎖（大・小）を外す。

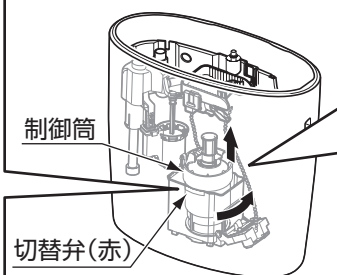
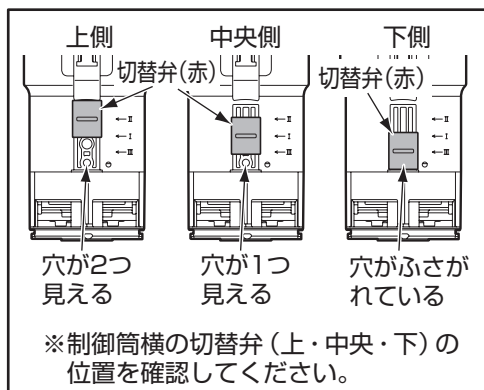


7 制御筒ユニットを取り外す

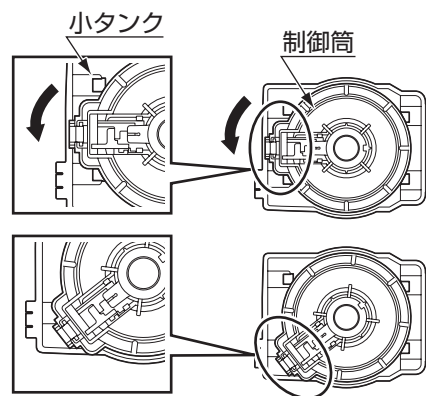
- ① 制御筒のツメを持って回転させる。
- ② 右図のように矢印をあわせた後、引き上げて外す。

注 意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷をつけないようにしてください。

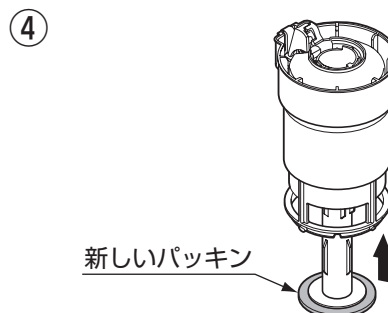
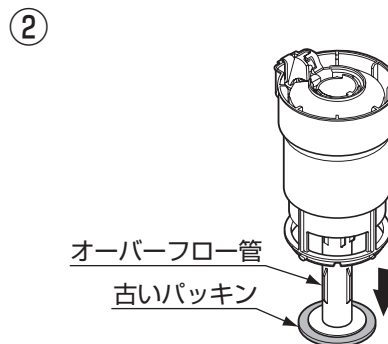
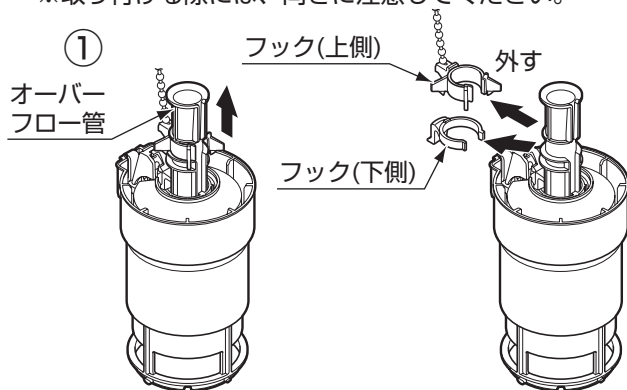


制御筒の矢印と小タンクの矢印をあわせる



8 パッキンを交換する

- ① オーバーフロー管からフック(上側)とフック(下側)を取り外す。
 - ② オーバーフロー管を取り外す。
 - ③ 古いパッキンを取り外し、新しいパッキンを取り付ける。
 - ④ オーバーフロー管を戻し、フック(上側)とフック(下側)を取り付ける。
- ※取り付ける際には、向きに注意してください。

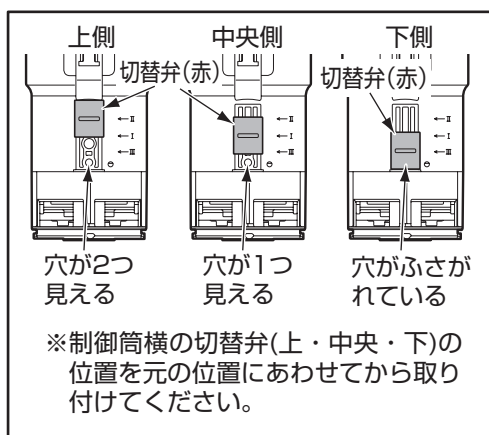


9 制御筒ユニットを取り付ける

①切替弁(上・中央・下)の位置を元の位置にあわせる。

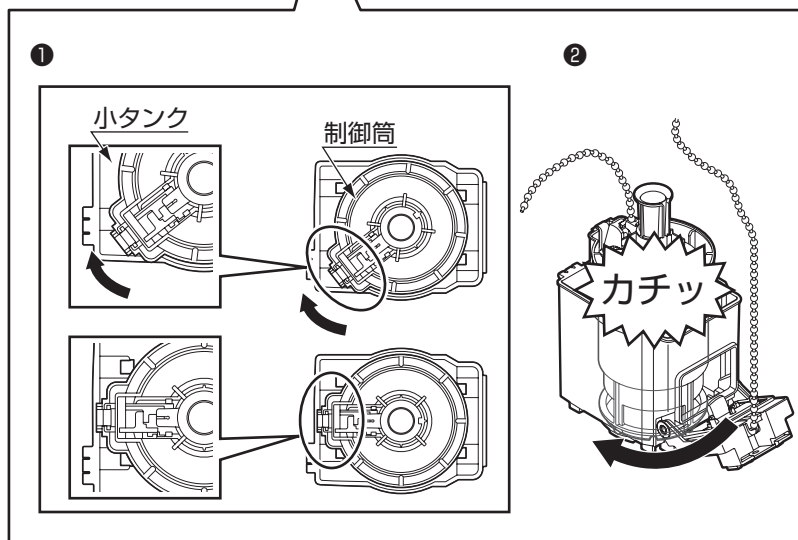
②制御筒ユニットを時計回りに回し取り付ける。

正しく取り付けないと止水不良になります。



制御筒ユニット

切替弁(赤)



10 玉鎖 (大・小) を取り付ける

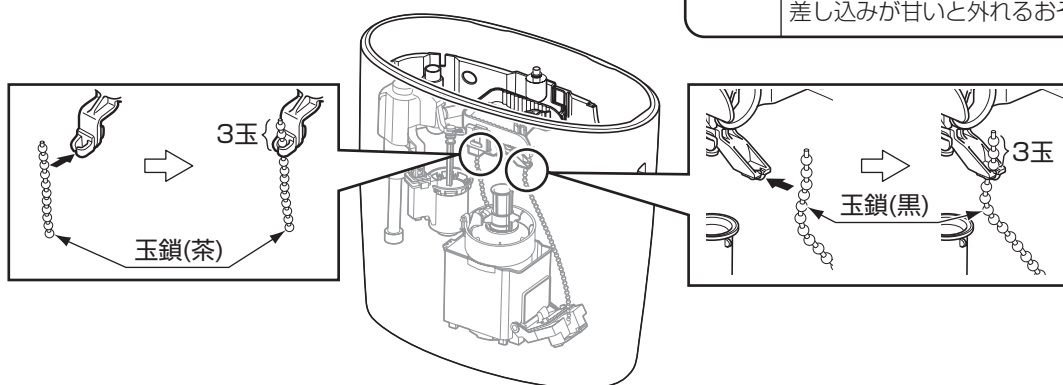
※玉鎖 (大・小) の取付位置を間違えないように注意してください。

⚠ 注意

玉鎖は必ず3玉余らせて取り付ける
止水不良や洗浄不良が発生するおそれがあります。

必ず実行

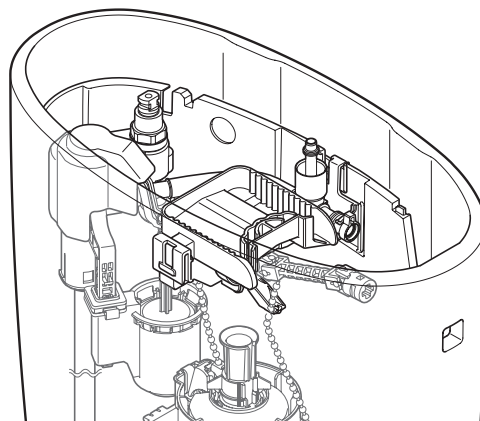
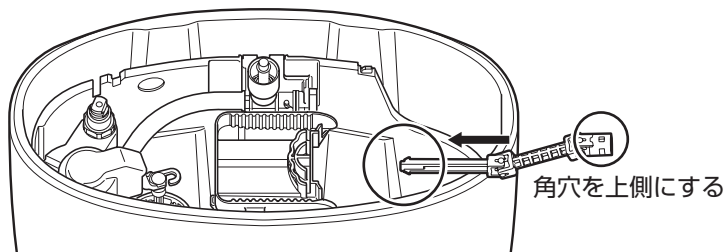
玉鎖は奥の丸いところまで確実に差し込む
差し込みが甘いと外れるおそれがあります。



11 ジョイントユニットを取り付ける

- ・排水レバーユニットにジョイントユニットを取り付ける。
- ・**⑤**と逆の手順で取り付ける。

※ジョイントの向きに注意して取り付けてください。
ジョイントは角穴部分が上向きになります。

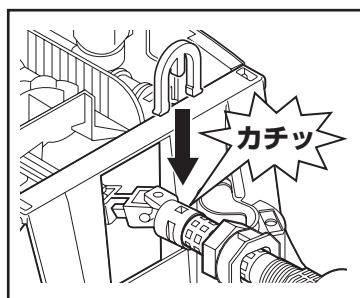


12 カバー(B)とレバーハンドル部を取り付ける

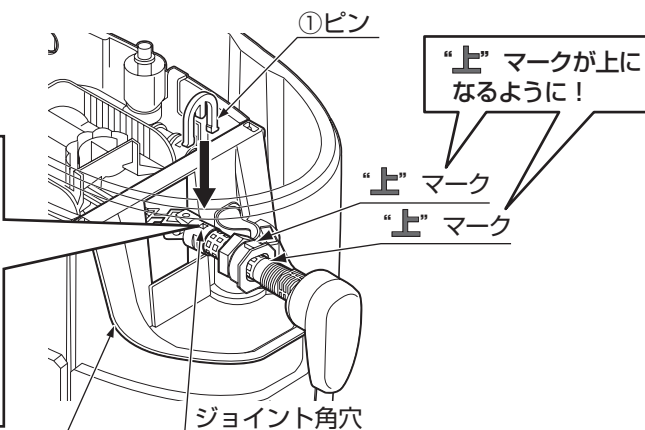
- ・**④**の①～③と逆の手順で取り付ける。
- ※カバー(B)は確実にハマっていることを確認してください。

- ・ジョイント角穴にピンを「カチッ」と音がするまで差し込み、固定する。

※ジョイントとスピンドルガイドが確実に固定されていることを確認してください。



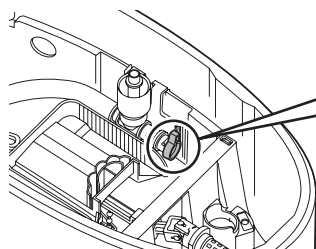
カバー(B)



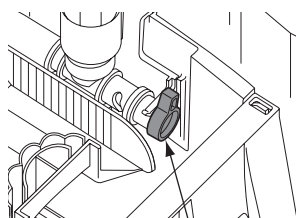
交換後作業

※交換後に下記 **13** ～ **15** の作業を実施してください。

13 切替レバーの向きを確認し、交換前の状態にあわせる

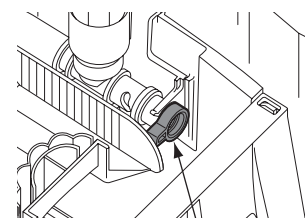


つまみが上向き（補給水なし）



切替レバー(赤)

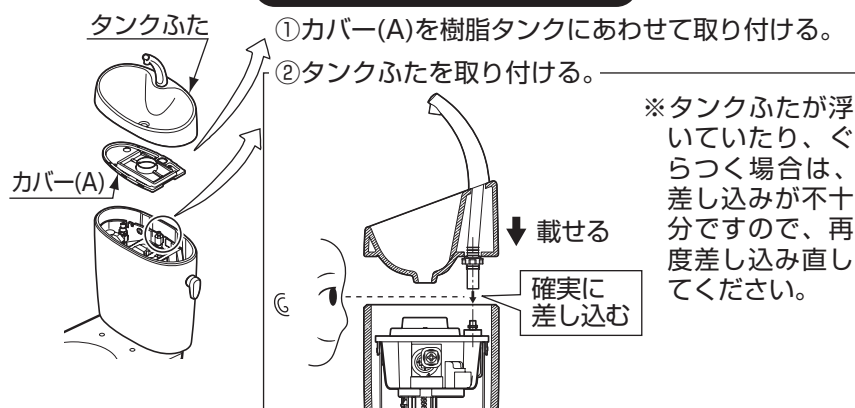
つまみが前向き（補給水あり）



切替レバー(赤)

14 カバー(A)とタンクふたを元に戻す

一般地／水抜き方式の場合



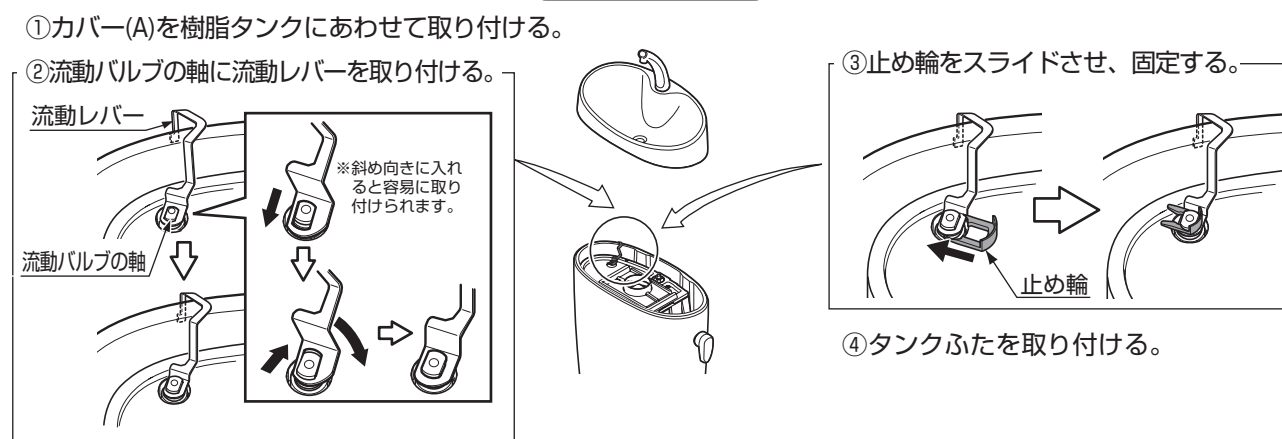
⚠ 注意



必ず実行

カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
水漏れの原因になります。

流動方式の場合



15 取り付け完了後の確認をする

- ・止水栓を開け、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）“給水フィルターの掃除”を参照して掃除を行う。
- ・凍結のおそれがある場合は、取扱説明書（お客様保管）の凍結予防方法に従って凍結予防を行う。

※本紙掲載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。